

令和6（2024）年度「いいじゃんスポーツチャレンジ in みよし」実施要項

1 実施内容

市内小中学校の学級を単位として、同学年間における「8の字跳び」の通信制大会を実施する。



2 目的

仲間とともに記録にチャレンジすることを通して、運動する楽しさや喜びを味わい、運動に親しむ態度を養うとともに運動意欲の向上を図る。

3 実施期間（チャレンジ期間）

中学校：令和6（2024）年5月から令和7（2025）年1月末まで

小学校：令和6（2024）年5月から令和7（2025）年2月末まで

4 参加対象

市内小中学校の参加を希望する学級（チーム）

※ 学級全員での参加を原則とする。やむを得ず、半数の人数で行った場合は、2チームの平均値をとる。（小数点以下は、切り捨てとする）

5 実施方法

- (1) 「8の字跳び」において、3分間で合計何回跳べたかについて、市内小中学校の学級（チーム）で競い合う。
- (2) 教職員が見ているところでの記録のみ公式記録とする（運動会や体育大会、児童会や生徒会主催のイベント、又はその練習中の記録も可）。
- (3) 記録は、「8の字跳び記録報告書」に記入し、教職員が市教育委員会へファクシミリやC 4 t hで報告する。
- (4) チャレンジ期間中であれば、何度チャレンジしてもよい。また、記録を更新した場合は、何度報告してもよい。
- (5) 市教育委員会に報告された記録のうち、上位5チームは、市HPに掲載する。
- (6) 学年ごとの部門とし、優秀な成績を収めた学級（チーム）を市教育委員会から表彰する。
（各学年上位3チーム）
- (7) 実施する場所については、特に限定しない。運動場や体育館など、安全に行える場所を選んで実施する。

6 「8の字跳び」のルール

- (1) 縄を1回まわすごとに一人ずつ跳んで抜け、3分間で合計何回跳べたかを数える。
※ただし、上手に跳べない子が跳べたと実感できるようにするために2人で一緒に跳ぶなどの配慮をしてもよい。（その場合の回数は1回とする。）
- (2) 失敗した時の数は、回数に含めない。
【例】・・・9、10、11と数え、11のところで失敗してしまったら、再開するときは、11、12、13、14・・・と数える。
- (3) 縄の材質や長さは自由とする。
- (4) ターナー（回し手）は、学級（チーム）の児童生徒から選出する。ただし、小学校低学年（1年生～3年生まで）はターナー（回し手）を教職員や上級生が行ってもよい。

7 その他

- (1) 体育科や保健体育科における「体づくり運動の運動遊び」「体づくり運動」との関連で実施することも可能であるが、体育科・保健体育科の学習は指導計画通りに実施する。
- (2) イメージキャラクターとして、みよし市健康づくり大使「キューちゃん」を使用する。